

比較家族史学会 会報 比較家族史 56

事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付
郵便振替(会費) 00130-4-25222 (年報バックナンバー・その他) 00180-3-604964

比較家族史学会研究大会第五三回大会

日時 二〇一一年六月二十五日(土)―二十六日(日)

会場 中央大学多摩キャンパス

〒一九二一〇三九三 八王子市東中野七四二一

受付 三号館一階アカデミックラウンジ

大会運営本部 三号館二階三二〇一号室・三二〇二号室

大会会場 三号館一(二)階三二一四号室

休憩室 三号館二階三二〇六号室・三二〇七号室

懇親会 一号館・教員食堂

※多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅から徒歩〇分。駅

からは歩行者用デッキ(白門プロムナード)を右手に進み、

階段を上らず、右手奥に進むと、三号館一階受付(ガラス張

りのラウンジ)。両サイドの入り口からお入りください。

詳しくは、中央大学のウェブサイトをご覧ください。

http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_tama_j.html

問い合わせ先 中央大学文学部 山田昌弘研究室

e-mail

電話 〇四二六一七四一三八二六(山田研究室)

参加費 会員一五〇〇円、非会員二〇〇〇円

懇親会費 三〇〇〇円

昼食について 大会では、弁当の用意はいたしません。土曜日

は学内の生協食堂が営業、利用可能です。日曜日は学内の食

堂は休業、会場周辺にはほとんど食堂がないため、あらかじめ

め弁当を持参、または、モノレール乗換駅「立川」「多摩セ

ンター」「高幡不動」駅近辺などでお求めになると便利です。

◆プログラム

大会統一テーマ「グローバル化する社会と家族」

六月二十五日(土)

(受付開始) 九時三〇分より三号館一階アカデミックラウンジ

(会長挨拶) 戒能民江(お茶の水女子大学)

一〇時〇〇分〜一〇時一〇分

【サブ・シンポジウム】

「諸文化における『近代家族』の諸相」

司会 小谷眞男(お茶の水女子大学) ほか

(趣旨説明) 小谷眞男(お茶の水女子大学)

一〇時一〇分〜一〇時三〇分

(報告一) 開内文乃(中央大学)

「グローバルファミリーの出現―国際結婚の新しい形―」

一〇時三〇分〜一〇時四十分

(報告二) 宮坂靖子(奈良大学)／金松花(奈良女子大学大学院)

「中国の家族は『近代家族』化するのか?―『専業主婦』化／『専

業母』化の動向―」 一一時〇〇分〜一一時一十分

(休憩) 一一時三〇分〜一一時四十分

(総会) 一一時四〇分〜一二時三〇分

(昼食休憩) 一二時三〇分〜一二時三十分

(報告三) 李璟媛(岡山大学)

「韓国の家族の変化―ひとり親家族の実態と支援を中心に―」

一二時三十分〜一二時四十分

…時…分…四時

〔報告四〕 村上薫（アジア経済研究所）
「トルコ型近代家族とナームス（性的名譽）概念の変容」

一四時～一四時三〇分

〔休憩〕

一四時三〇分～一四時四〇分

〔報告五〕 高橋一彦（神戸市外国語大学）

「帝政末期のロシアにおける離婚法改革の試み」

一四時四〇分～一五時一〇分

〔報告六〕 梅津綾子（名古屋大学大学院課程）

「現代ナイジェリアの『里親養育』に見る親子観—
生みの親・育ての親と子の長期的共存関係—」

一五時一〇分～一五時四〇分

〔休憩〕

一五時四〇分～一五時五〇分

〔討論〕

一五時五〇分～一七時二〇分

〔懇親会〕

一七時三〇分～一九時三〇分

会場 一号館・教員食堂

六月二十六日（日）

〔シンポジウム〕

「家族の未来？—グローバル化の中の近代家族—」

司会 山田昌弘（中央大学）・三成美保（摂南大学）

〔報告一〕 山田昌弘（中央大学）

「近代社会の深化と家族の将来…趣旨説明と問題提起」

一〇時～一〇時四〇分

〔報告二〕 山根真理（愛知教育大学）

「韓国の家族・ジェンダーの現代的变化を考える—日本との比較視点で—」

一〇時四〇分～一二時二〇分

〔報告三〕 丸山茂（神奈川大学法科大学院）

「近代家族の変容とポストモダン家族」

一二時二〇分～一二時

〔昼食休憩〕 一二時～一三時

〔報告四〕 落合恵美子（京都大学）

「復権する家族—東アジアとヨーロッパの現在—」

一三時～一三時四〇分

〔報告五〕 宮台真司（首都大学東京）

「公私分離の新しい形—オンラインからオフラインへ—」

一三時四〇分～一四時二〇分

〔休憩〕 一四時二〇分～一四時四〇分

〔討論〕 一四時四〇分～一六時三〇分

〔閉会挨拶〕 一六時三〇分～一六時四〇分

〔閉会〕 一六時四〇分

運営委員…山田昌弘・長野ひろ子・坂田弘

三成美保・小谷眞男

なお、本大会につきましては、ポスターをHPにアップしてあります。どうぞご覧いただき、お誘いあわせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

◆シンポジウム概要

統一テーマ「グローバル化する社会と家族」

一 サブ・シンポジウム

「諸文化における『近代家族』の諸相」

三十周年記念大会二日目の企画、サブ・シンポジウム「諸文化における『近代家族』の諸相」では、比較家族史学会の名にふさわしく、さまざまな時代・場所における「近代家族」の動態を、互

いに折り重なるように展開する研究報告計六本により点描風に構成する。このような比較史のでこ

ぼこ道を辿りながら、ともすれば過度に単純化されがち

な「近代家族」という概念の相対化の一端を担おうとい

うのが、このサブ・シンポの趣意である。まずは

広く深い歴史の森のあちこちを探検して「家族の過

去」を地道に掘り出し、あるいは視野を広げて地球

上のさまざまな「家族の現在」を認識しようとしな

ければ、グローバル化が進む社会における「家

族の未来」を説得的に展望することもまたできな

いだろう。（小谷眞男）

二 シンポジウム

「家族の未来？—グローバル化の中の近代家族—」

児童虐待や行方不明高齢者がマスメディアを賑

わせている。これらの家族問題は、自然な感情に

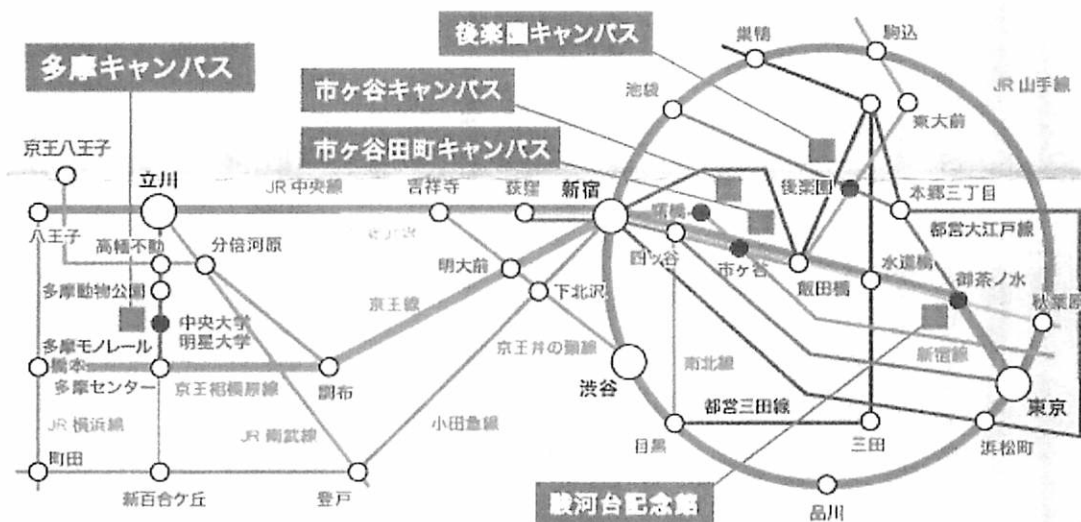
基づくとされる家族関係が、構築されたものにな

大会会場案内

中央大学多摩キャンパス（〒192-0393 八王子市東中野742-1）は、多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅から徒歩0分です。モノレールはJR中央線「立川」駅、京王線「高幡不動」駅、「多摩動物公園」駅、小田急線・京王線「多摩センター」駅から接続しております。

詳しくは、中央大学のウェブサイトをご覧ください。

http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_tama_j.html



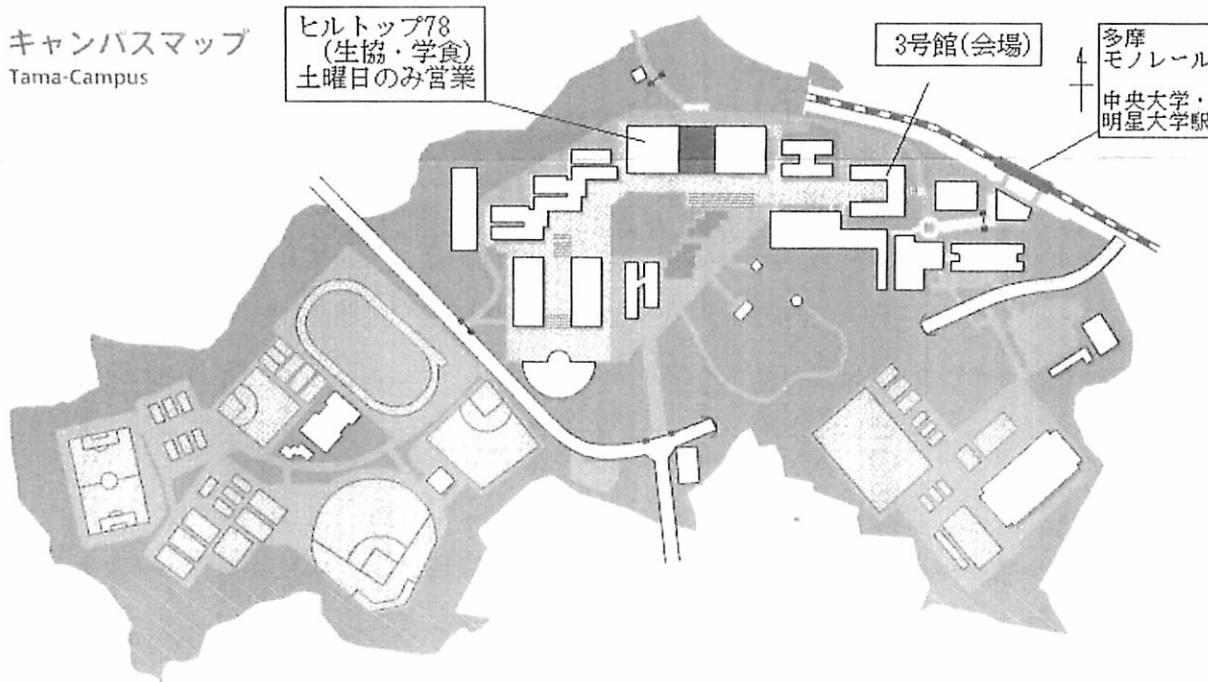
「中央大学・明星大学」駅から歩行者用デッキ（白門プロムナード）を右手にお進みください。階段を上らず、右手奥に進まれると3号館1階受付（ガラス張りのラウンジ）となります。両サイドの入り口からお入りください。

キャンパスマップ
Tama-Campus

ヒルトップ78
(生協・学食)
土曜日のみ営業

3号館(会場)

多摩モノレール
中央大学・明星大学駅



ぎないことを、われわれに、「否定的」な形で明らかにしてしまった。

われわれが通常「家族」として思い浮かべるものは、近代社会の成立と共に出現し、その広まりと共に定着していった。つまり、近代社会によって構築されたものであることを、我々は知っている。それを「近代家族」と呼んでおく。落合恵美子によって指摘されてきたように、公私の分離、子どもに対する情愛、性別役割分業などの特徴があった。

フェミニズムの挑戦や個人主義の浸透などは、近代家族の脱構築を進めてきた。それは、多様な家族形態が選択できるという形で積極的な意味を持つていた。しかし、現実には、児童虐待や行方不明高齢者のような否定的な形で、近代家族の脱構築が進んでいるように見える。では、脱構築された近代家族の後に来るものはどのようなものであるのだろうか。

家族は消滅しようとしているのだろうか、それとも、形を変えて存続し続けるのだろうか。今回のシンポジウムによって、近代家族の脱構築が進んだ後の家族像を展望して行きたい。(山田昌弘)

◆事務局からの連絡

一 会費納入のお願いと連絡

年会費は、個人会員は三〇〇〇円です。賛助会員は、五〇〇〇〇円となっております。今回は会費未納分のある方に振込用紙を同封しています。住所ラベルの右下の既納年度(二〇一一年五月一日現在)は更新してありますが、同日以降の振込み、および行き違いの節はご宥恕ください。また、学校法人名で振り込まれるときは、必ず通信欄に会員氏名をお書きください。

二 『比較家族史研究』バックナンバーについては、『比較家族史研究』の個人でのご購入に関しては、既刊分一九号までは一冊五〇〇円に値下げして販売しております。

また、一号から全号一括での販売もおこなっております。また、図書館等に収書されていない大学で、一括購入のご希望がありましたら、事務局、または弘文堂にご連絡ください。

三 二〇一一年度秋季研究大会について

二〇一一年度秋季研究大会は、二〇一一年秋に桃山学院大学で予定しております。発表募集等は、あたためて行いますので、しばらくお待ちください。

四 事務局連絡先

今年度で事務局が変わりますが、二〇一一年六月末まで引き続き先のお茶の水女子大学になります。新事務局につきましては、次回の「お知らせ」でお知らせします。

〒一三二八六一〇東京都文京区大塚二一〇
お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
小玉亮子研究室気付

電話&FAX: 〇三三五九七八一五三四

E-mail:

(事務局専用アドレス)

◆編集委員会からの連絡

比較家族史学会編集委員会では、投稿を募集しています。投稿の締め切りは、毎年、八月末日です。詳しい投稿規程は、学会機関誌『比較家族史研究』第二三号以降、毎月掲載されておりますので、ご参照ください。投稿をおまらしております。

◆理事会報告

(理事会議事録)

日時 二〇一〇年一月二十四日(日)

時間 一〇時～一二時

場所 お茶の水女子大学本館三・五室

出席者 三〇名(委任状を含む)

議題

報告事項

・学会誌電子化の進捗状況について
年度末にむけて、電子化の作業に入ることにつ

いての説明があった。

二 学会ホームページについて

二〇一一年三月末までに学会ホームページのサーバーの移転を行う必要があるとの報告があった。

審議事項

一 新入会員・退会希望会員の承認について

新入会員三名、退会会員六名が承認された。老川寛会員がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

二 『比較家族史研究』について

清水編集委員会委員長より第二五号の進捗状況と目次構成について説明があり、承認された。

● 第二二号掲載論文(広瀬玲子「独立か内助か」の「日本史学年次別論文集」二〇〇八年版近現代分冊への転載許可依頼を承認した。

三 年報の電子化に関して

学会誌本体の縦組頁・横組頁の混在の問題について、清水理事と弘文堂とで検討すること、また、ウェブ上の公開時期は、奥付の発行日の一年後とすることが了承された。

四 文献目録について

例年より日程を繰り上げ、調査票を一月中旬に発送し、一二月半ばに締切として進める旨、承認された。

五 二〇一一年度の研究大会について

六月二四日(金)理事会開催。二五日(土)ミニシンポジウム「諸文化における『近代家族』の諸相」、懇親会。二六日(日)メイン・シンポジウム「家族の未来―『近代家族』再考―」。場所は中央大学で、運営委員会は山田理事が依頼することが了承された。

六 次期理事選挙について

選挙管理委員会は、現会長・事務局ならびに若手会員で構成すること、日程は、前回選挙より半月前倒して進めることとし、詳細は事務局に任することが承認された。

七 その他

奥山理事より、二〇一一年度基礎法学系学会連合シンポジウムについて説明があり、人選等詳細は奥山理事に一任する旨、承認された。

日時：二〇一一年二月二七日(三時～一五時)

場所：お茶の水女子大学本館 三一五室

出席者：理事一三名(ただし選挙理事二〇名中、委任状を含む)

議題

一 推薦理事の選出について

まず、理事選挙の開票作業の経過について報告があり、推薦理事の選出を行った

日時：三月二三日(日) 一三時～一五時

場所：お茶の水女子大学本館 三一五室
出席者：二六名(委任状を含む)

議題

一 新会長・会計監査・委員等の選出について
新会長・会計監査候補者を選出し、委員等の役割分担について審議した。

◆新理事名簿

太田素子、大野啓、岡田あおい、奥井亜沙子、奥山恭子、成能民江、加藤彰彦、黒柳晴夫、國方敬司、小池誠、小島宏、小谷眞男、小玉亮子、椎野若菜、白石玲子、高木侃、床谷文雄、永野山紀子、西岡八郎、平井晶子、廣島清、服藤早苗、堀田幸義、牧田勲、三成美保、村山聡、森謙三、森本彦、八木透、山田昌弘、吉野晃、米村千代、若尾典子、若尾祐司

◆新入会員

平井太規(神戸大学大学院博士課程)、開内文乃(中央大学文学部非常勤)、大島志津子(総合女性史研究会)、田中佑季(慶応義塾大学大学院博士課程)、斉額賢(専修大学大学院博士課程)